

グローバル補助金を活用した水と衛生プロジェクト
旭川モーニング RC 国際奉仕委員会
D3330 ナコーンシータマラート地域現地訪問報告

2016～17 年度 会長 河崎 高麗男

私たちは、水道の水は普通に飲めるのが当たり前のものだと思っています。アジア諸国で水道水が安全に飲めるのは、日本とアラブ首長国連邦だけだそうです。

2016～17 年度より D3330 タイ・ナコーンシータマラート地域のタサラ・ナコーンスリー RC と旭川モーニング RC はロータリー財団グローバル補助金を活用した大型浄水器設置事業を実施してきました。

今回、2017 年 11 月 10 日よりタイ国ナコーンシータマラート地域での小中学校 5 校に水の大型浄化装置を取り付けが完成し各施設の学校およびコミュニティの人々に寄贈する譲渡式に、竹澤国際奉仕委員長を団長として4名で訪問して来ました。

私たちは、10 日早朝旭川駅 5:15 分の JR で新千歳空港に向かい一路タイに出発、バンコク・スワンナープ空港経由でクラビ空港に



19:30 頃到着、タサラ・ナコーンスリー RC のメンバーが我々4名の顔写真入りの歓迎の幕で迎えてくれました。

タサラ RC メンバーと共に夕食を共にして同夜はクラビのホテルに泊まり、翌日、タサラ RC のメンバーがバンで約 200 km 離れた現地へと案内、所々で名所の寺院や露天温泉、山の中のエメラルドプール等見学・夕方 17:00 頃現地ナコーンシータマラートのタサラ T.W.Seaview Hotel に到着タサラ RC メンバーと共に夕食をして 2 日目が終了。

3 日目(12 日) 愈々プロジェクト実施訪問です。

まず午前中はアンフォエ シシヨンのバンファイコミュニティでの譲渡式には小学生を始め地域の人々が日の丸の旗で迎えて頂きました





午後は、アムプー カノムのチャムチョンバン
バングノッド School では楽器演奏で大歓迎
を頂きました。

今回の、ナコンシータマラート地域の飲料水は上下水道完備が遅れ、洪水で汚染、塩分の
多い水 40℃からの熱射による腐敗雑菌に侵された水を飲料としており、抵抗力の無い多くの乳



幼児の命が奪われている事が解りました。

私たちは、水と衛生 グローバル補助金を

活用して、地域社会における安全な水の公平な
提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な
水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理
を地域社会が自ら行っていくための能力向上、



安全な水と衛生の重要性について、D3330
ナコンシータマラートプロジェクトで学校や地
域社会のための清潔な飲料水の（予算
30,575 \$）公平な提供をめざして来たもので
す。



コミュニティの人々の認識を高めるためのプログラム支援、教師や地域社会の人々と会い、水質の悪さを理解してもらい、食品医薬品局(FDA)の基準を満たす5つの大型水フィルターを提供するとともに、プロジェクトを成功させるために必要なことをコミュニティの人々に知らせることを計画してきました。

コミュニティの人々はこのプロジェクトのための原水を提供し、各対象の場所を設定、さらに、地域の人々を含む地元委員会を設立、パートナーのロータリー・クラブのコンサルタントが、機器の操作と保守を担当、教師、学生、学校教育委員会からなるプロジェクト委員会を立ち上げ、プロジェクトと年間の世話をしていきます。



清潔な水を飲むことの重要性について地域社会の人々や学生に教育することを目的としたワークショップが開催されています。また、水フィルターの操作と保守を担当する者に、装置を適切かつ永続的に使用するように訓練をしています。

コミュニティの人々は清潔な水を飲むことの重要性を認識していないため、この問題についての教育。水フィルターの操作とメンテナンスは水の品質につながるため重要であり、それを担当する人々がそれを維持する方法を理解していることを確認する必要があります。



毎年、スムーズに機械を稼働させるために、給水のために継続的な維持管理をするための水を地域社会受益者に販売します。ナコーンシータマラート

地域の5ヶ所の施設で地域社会のコミュニティの人々約15,000人に綺麗な美味しい水が提供



出来る事に成りました。

4日目(13日)アンフォエ タサラのバンパークジャオ School・アムプータサラのワツァンクーン School・午後からアムプーマイーングのバナキアン School を訪問して、それぞれの学校を中心

に子供たちを始めコミュニティの人々に歌や踊り・太鼓などで出迎えを頂き大変な歓迎と感謝の言葉を戴きながら、各施設の訪問を終了いたしました。

5 日目(14 日)は、ロータリー米山記念奨学会・1993～95 年、金沢星陵大学で学び金沢 RC で米山奨学生として過ごし「故郷に戻り・役立つ人間に成りたい」と誓い卒業後オーストラリアで情報技術を学び 2000 年タイに帰国、日本企業へのコンサル業務を行い会社設立、現在、タイ日人材育成協会会長テムラック・チャオさんの経営する福岡県の柳川高校付属中学校(創立 2016 年)を訪問してきました。

この柳川高校付属中学校は全国から 50 名限定の全寮制で日本語必須科目だそうです。ロータリー米山記念奨学会の素晴らしいロータリーの教育理念に感動し日本の良さをタイの若者たちへ広めて行きたいと熱く語っていました。この 10 年で 350 名ほど日本に留学生を送り出しているそうです。



な Wellcoming Party を開催して戴き、タサラー・ナコンスリー RC を始めシチョン RC・ポーサテッドナコンシー RC その他の RC の皆さんと子供さんたちの踊りで迎えられ楽しく親睦に努

夜は、Wellcoming Party を Thasala hospital hall でナコンシータマラート地域のクラブのメンバー約 50 名程が集まり盛大



めてきました。



ロータリー財団の補助金の活用を通じて、当クラブは「世界で良い事をしよう」標語の下に人道的プログラム《水と衛生》人々の健康状態の改善と取り組んでタサラー・ナコーンスリーRC との共同で五つの小中学校を中心のコミュニティに水の大型浄化装置を設置し、生徒と学校周辺の地域住民にも恩恵を与えられる事業に大変な感動と感謝を頂きました。現地訪問して見て、まだまだ日本では理解できない環境があり、ロータリー財団の活動が如何に素晴らしいものかを現地視察を得て理解できた事に感謝と共にこれから財団支援GGプロジェクトに力を尽くして行きたいと思えます。

ナコンシータマラートは、バンコクから南に約 780km に位置する自然が豊かで美しい県です。タイ湾に面し、タイ南部で 2 番目に大きな都市であり、南部で 1 番長い海岸線を持ちます。南部の芸術、文化、宗教の中心地として栄えた町であり、仏教寺院「プラ・マハータートウォラマハーウィハーン」は県内で有名な建造物です。海に面していることから漁業、養殖業ともに盛んであり、また農業も盛んです。

